



押井徳馬×萌えぎのエレン



目次

アーティスト？ アイドル？
(押井徳馬) ……3



同人音楽に触れてみよう
(押井徳馬) ……5

同人音楽ライブに行ってみよう
(押井徳馬) ……6



萌えソング・電波ソングとは
(押井徳馬) ……9



同人音楽 CD 紹介
(押井徳馬) ……13

つんく♂は萌えをどう語ったか
(萌えぎのエレン) ……15



つんく♂の言うロックとは
(萌えぎのエレン) ……18

アーティスト？アイドル？

チエコちゃん (5)



「ねえねえ、くまちゃん、くまちゃん、**同人音楽**って知ってる？」

くまちゃん



「知ってるし大好き。M3 やコミケで **CD** 沢山買ってるし、**ライブ** にも時々行く。ななひらさんとか桃箱さんとかちょこちゃんとか。**ステージで可愛い衣裳着て可愛い歌を歌って**」



「**ペンライト**とか振って応援したり？」



「うん」



「**PPPH**とか**オタ芸**とか？」



「**PPP**ならやるけどオタ芸はやらないかな」



「ねえくまちゃん、そういう『**同人音楽の女性アーティスト**』と『**地下アイドル**』の違いって何？」



「え？！」



「**ボーッと生きてんじゃねーよ！！**」

——今こそすべての同人音楽ファンに問います。

「『同人音楽の女性アーティスト』と『地下アイドル』の違いって何？」

「同人音楽の女性アーティスト」と「地下アイドル」の違いも知らずに、やれ「M3 で新譜を買う」だの、やれ「ライブでペンライトを振る」だのと4年間やってきた、自称「同人音楽ガチ勢」くまちゃんの、何と情けない事か。



しかし は知っています。

同人音楽に触れてみよう

「同人音楽」は「同人誌」の音楽版。仲間が集まって作詞作曲・歌唱・CD制作（インターネットを活用した打合せや曲データのやりとりも多い）や頒布をする人が沢山います。



新譜情報やサンプルは大抵、アーティストのツイッターアカウントで確認可能。



動画サイトで作品鑑賞したり、アーティストのインターネット生放送を見たり（放送が始まるとツイッターで告知する事が多い）。



定期的に行われる「M3」「コミックマーケット」等のイベントでは同人音楽CDが盛り沢山。試聴可能な事も多い。

触れる機会いろいろ



ライブもおすすめ。複数グループが来る事が多いので、知らないサウンドとの出会いのチャンス！

物販コーナーではアーティスト手売りのCDも買える。



DJ おすすめの同人音楽をうまくつなぎながらノンストップで流すDJイベント（「どじんほりてい」等）も、知らないサウンドを知る機会。



同人ショップ（とらのあな、あきばおー等）、ネットショップ、音楽配信サイトにもある。同人誌等の通販サイト「BOOTH」では期間限定の同人音楽頒布イベント「Apollo」も。



たまにゲームセンターの音楽ゲーム機に入る事もあるので、得意な方は是非！

同人音楽ライブに行ってみよう

絶対必要



チケット は紙のチケット（先払）の場合、電子チケット（先払）の場合、主催者に置き置き連絡する場合（入場時に申込時の名前を確認して料金支払）の3種類があり、ライブにより異なります。お忘れなく！



ライブハウスは法律的には「飲食店」で、別途**ドリンク代**（500～600円が相場）を支払う場合も（ライブハウスの収入になる）。飲物との引換チケット（ドリンクチケット、ドリチケ）が渡されます。ビールにカクテル、コーラにウーロン茶、あなたは何を飲む？

あれば便利

ライブにもよりますが、出演者を応援する時に**ペンライト**を使っても良いことがあります

す（なければ曲に合わせて手を振ったり手拍子を取ったりしてもいい）。使い捨てのサイリウム（安いものでは100円ショップにもある）でもいいのですが、今後時々参加するつもりなら、色を変更出来るペンライト（2,000円前後が相場）と替えの電池を用意の方が経済的ですしゴミも減らせます。色変更対応のペンライトは、以下の色が出せれば大丈夫です。



ホワイト	ピンク	レッド	オレンジ	イエロー	グリーン	ライトブルー	ブルー	パープル
白	桃	赤	橙	黄	緑	水色	青	紫

ライブハウスによっては、音量が大き過ぎて耳に負担がかかる事があるので、状況により**耳栓**があると耳鳴りや難聴のリスクをかなり軽減出来ます。ライブ用の、歌声の聴きやすい耳栓もあります。





同人音楽CD紹介

同人音楽 CD は廃盤になるのが早めです。売切の場合はごめんなさい。曲によってはネットで試聴できたり、CD と並行してダウンロード販売も行なっているものもあります。

twinkle 「はじめてのべすとあるばむ」

「ちょこ」ちゃん、「みるく」ちゃんの二人組による「妹系」ユニット「twinkle」のアルバム。作詞・作曲は電波ソングユニット「おでんぱ☆スタジオ」を主宰していた「ひろて〜」さん。「かわいいは正義！」な歌あり、ナンセンスな歌詞だけどノリノリな電波ソングあり、メロウなバラードありと、ひろて〜さんの音楽ジャンルの守備範囲の広さは驚異的。

なお、ひろて〜さんは「twinkle Sister ☆ Live」「magical star live (まじすた)」というライブイベントを定期的に開催している。そこでは電波ソング系を中心に5〜6組程のアーティスト（twinkle やちょこちゃんソロの出演も多い）が代わる代わる出演する。

ポヤッチオ 「ピコロニーノーツ」シリーズ

「かたほとり」さん主宰のサークル「ポヤッチオ」による「萌えピコ系オリジナルボーカルコンピ」。電波ソングを中心に様々な作詞作曲者・様々なシンガーの歌を集めたコンピレーションアルバム。お気に入りの同人音楽アーティストを見付けてみよう！

Poly Pro Pylene 「Vivid Punch Out!」

「れいな」さんが作曲して様々なシンガーに提供した歌のコンピレーションアルバム。楽しくて覚えやすいリフレインのある歌が多いのが特徴。

蛇足ながら、れいなさんは「仮想空間でカワイイ女の子に変身して色々なドレスを着たりファッションショーを模したリズムゲームをプレイする」ゲーム、「ハッピーおしゃれタイム」の制作チームの一人。CD「ハッピーおしゃれタイム 2018 Spring Original Soundtrack」では本人の歌も聴く事が出来る。

ななひら 「Confetti-Box」

ニコニコ動画の歌い手さんとしての知名度も高い「ななひら」さんの歌のベストアルバム。可愛いけど中毒性の高い、楽しい電波ソングがてんこ盛りである一方、「かぼちゃ」氏作詞作曲の、家庭内暴力と学校のいじめをテーマにした「ニーナへ。」は涙無しに聴けない名曲であり、こんなテーマを臆する事なく発表出来るのも、同人音楽の自由なところ。

ななひらさんは「小紺ココ」さんとのユニット「ラブリコット」、「小紺ココ」さん・桃

箱」さんとのユニット「SHAKING PINK」「Pomme'tto（ポメット）」でも活動している。

桃箱「momochan continue」

ニコニコ動画で「ファーファ」のCMの熊さんの物真似をしたり、ユニット「ちいむでんぼdmp」「桃箱 & miko（通称：みこぼこ）」（相方の miko さんは東方 Project のゲームミュージックの替え歌「チルノのパーフェクトさんすう教室」でも有名）やソロで電波ソングを歌ってきた、「桃箱」さんによるアルバム。これまでは他の作曲者の提供曲を歌ってきた桃箱さんが、このアルバムでは「シンガーソングライター」としての本領を発揮している。しかも、電波っぽい要素をほんのり残しながらもオシャレに仕上がっているのが良い。どれも名曲だが、特に「それはももちゃんの」を推したい（YouTube でフルコーラス視聴可）。

Prismagic「Robbia」

同人音楽界の人気コンポーザー「かそかそ」さんと、女性シンガー「きゃらめる」さんのユニット「Prismagic」のセカンドアルバム。かつて電波ソングを歌っていたきゃらめるさんの、かそかそさん作曲のオシャレな歌への路線変更が興味深い。

ほとんどの歌はきゃらめるさんのソロだが、冒頭の「Synergy」だけにある、かそかそさんの男声とのコーラスは聴き所。一方、作曲はほとんどがかそかそさんだが、唯一、「ユメイロパレット」のみ、きゃらめるさんの作詞作曲。すがすがしくて元気の出る曲。

もかりく。「初恋トフレ」

最近の同人音楽界限では、「萌えソング」「電波ソング」から少し離れた「オシャレな歌」や「まったりした歌」も流行り始めているが、この CD は 1990 年代に流行った「渋谷系」サウンドを思い出させる懐かしいメロディである……かと思いきや、最後の曲が日常に疲れて赤ちゃん返りしたい気持ちを歌った電波ソング「もしやもしやきゅつきゅ！！ばあぶばあ♥」（作詞作曲は立秋さん）なのが面白い。

まめこ「ふわらぶあにまる」

動物大好き「まめこ」さんによる、動物をテーマにした曲を中心に集めた CD。小動物を彷彿とさせる可愛い声から、包み込むような優しい大人のお姉さんの声まで、曲によって声を使い分けて歌っている芸の細かさは必聴。

「萌えと音楽」は今回で終わり？

もし反響があれば次号も出す事を予定しています。是非ご意見ご感想を！ 次号では原稿も募集します。詳しくは「はなごよみ」ウェブサイトやブログで発表します。

つんく♫は萌えをどう語ったか

モーニング娘。などのグループの総称、ハロプロ（ハロー！プロジェクト）。

まず、お断りしておくが、つんく♫がモーニング娘。の（そしてハロプロの）総合プロデューサーを務めていたのは2014年まで。現在では、つんく♫は作家（作詞、作曲）としての関わりのみだが、彼の意志は2018年の時点でもハロプロの楽曲に継承されていると、ぼくは考えている。だから、かつての総合プロデューサーつんく♫がそうして来たから現在のハロプロはこうなっている、という前提で、書くことにする。

つんく♫は萌えを意識してハロプロの楽曲を作っていた。いわゆる萌えソングとは聞こえないハロプロ楽曲の何が萌えなのか。

つんく♫が萌えという言葉を使い始めたのは、2011年。志倉千代丸と組んで秋葉原にバクステ（AKIHABARA バック



ステージ pass) を開店した頃だ。アイドル候補生が時給で働くカフェ。彼女たちは給仕をしつつ常設ステージで歌唱パフォーマンスを披露する。バクステ開店に先行して放映されたテレビ番組「つんつべ♫」には、いわゆる地下アイドルや地方アイドルが数多く出演していた。つんく♫はゲスト出演のアイドルに萌えシールを贈呈する。バクステ開店後には「つんつべ♫」の主な収録現場ともなっていた。バクステは、秋葉原に乱立していたメイド喫茶を模したものと考えられていたが、つんく♫が関わる理由は、この秋葉原で起こっているムーブメントのなかから本格的なエンタテインメントを生み出す目的もあった。そして、この番組でつんく♫は頻繁に「萌えやな!」と発言していた（つんく♫は大阪出身）。付け加えておくが、バクステはハロプロではない。

1997年。モーニング娘。のプロデュースを行うにあたり、つんく♫は、音楽として妥協しないと決めた。それが、昨日まで素人だった女性が歌うものであってもだ。そういう意気込みがあった。しかし、それは試行錯誤の連続でもあった。『クイックジャパン 98号』（太田出版、2011年）に掲載された、つんく♫インタビュー。ここで彼が萌えについて語っている。自分が作ってきたモーニング娘。の楽曲は、韓国のKポップアイドル楽曲の完成度には及ばない点がまずあり、それでも日本的なセールスポイント、武器はある。それが萌えなのだ。つんく♫はそう言う。インタビューの概要はこうだ。モーニング娘。初期

女性アイドルの楽曲とは砂糖菓子のようなもの。そのような、ざっくりとした印象が、まずある。それは、国内のロックやポップソング、そして演歌や歌謡曲と比べて、という意味だ(昭和の頃はアイドルが歌う曲はアイドル歌謡と呼ばれていた)。女性アイドルには柔らかくて可愛らしい楽曲が相応しい。ぼくは、そう考えていた。そして、ぼくのかでは、モーニング娘。以降、アイドル楽曲は一新した。モーニング娘。誕生以前、trf や安室奈美恵、そして SPEED が流行していた当時、女性アイドルはテレビに出ていなかった。言い換えれば、誰もが知る女性アイドルは存在していなかった。安室、そして SPEED の hiro (鳥袋寛子) などがアイドル視されていたかもしなかった。実際、彼女たちはアイドル歌手として活躍してもおかしくない年齢だった。しかし、彼女たちは「シンガー」であり

「ダンサー」である。「かっこいい」「クール」な印象で売り出された者たちだった。だから、かつてのアイドル歌謡とは異なる曲調、ダンスミュージックとしてリリースされていた。安室や SPEED がクールなイメージだったのは、アイドルなんてかっこ悪いという空気が当時にはあったのだろう。TM ネットワークの小室哲哉がプロデューサーとして台頭して来た時代の話だ。



既にテレビの歌番組に出演することが多かった、有名なロックバンド、シャ乱 Q のつんく♂が手掛ける女性グループ。当初のモーニング娘。とはそのような存在でしかなかった。あの、アホのつんく♂が小室哲哉の真似(女性歌手のプロデュース)をして、面白いことをやっている。その程度の認識でしかなかった。しかし、モーニング娘。のプロデューサーとして楽曲制作にも本格的に関わっているつんく♂は、妥協しない音作りを目指していた。ロックバンドであるシャ乱 Q では出来なかった、様々な要素を取り入れた。

モーニング娘。のインディーズデビューシングル『愛の種』は、昭和のアイドル歌謡のような楽曲だった。そして、この時点でつんく♂は作家(作詞、作曲)として関わっていなかった。その後、正式にデビューが決定したモーニング娘。のメジャーデビューシングル『モーニングコーヒー』から『LOVE マシーン』までのモーニング娘。の楽曲は、シャ乱 Q の歌を少女が歌っているように、ぼくには聞こえた。

モーニング娘。のオーディションからレコーディングまで、彼女たちの全ては、このオ